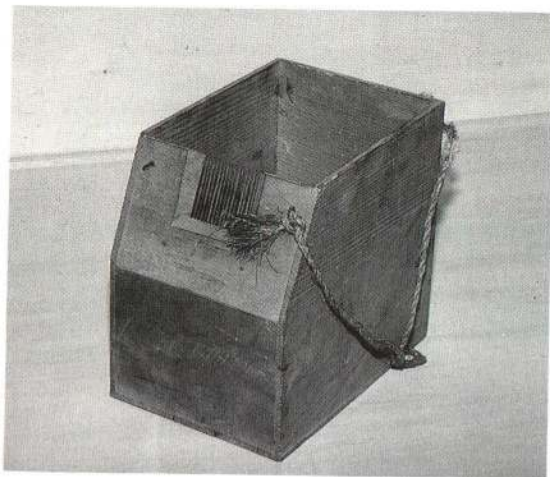


大館の歴史散歩

郷土博物館の展示紹介③

大館農業の玉手箱



写真は、田町の佐藤八郎さんから寄贈された厚さ五ミリメートルの杉の柾目板で作られた、奥行き二十四センチ、幅十七センチ、高さ二十三センチの木箱です。皆さんはこの木箱が何の目的で作られたのかのように使われたのかご存じで

しようか。

もう少し詳しく箱を観察してみると、箱は直方体ではなく、正面にあたる部分に細工がみられます。正面の板だけは厚さが一センチあって、上半分が六五度で内側に傾斜し、中央上部に五センチ×五センチの窓が開けられていて、そこに太さ二ミリメートルの鉄針が十五本植えられています。また、両側に下げひもが付いています。

現在、稲の品種改良は科学的な裏付けをもとに行われていますが、昔は突然変異的に生まれた良種を育ててコツコツと品種改良に力を注ぎました。そのような地道な努力を続けた人たちが各地の篤農家といわれた人たちです。

この箱は、篤農家が携帯用千歯ゴキとして持ち歩いた粃採り箱です。田んぼの中にすくと育った良い稲があるとこの箱を持って田の中に入り大事にその粃をこの箱で採集したものです。

佐藤さんの二代か三代前のおじいさんもそのような篤農家の一人で、品種改良に努力した人でした。この箱は、大館の米作りを育ててきた農業の玉手箱と言ってよい箱です。ぜひ博物館でご覧になって、先人の努力をかみしめていただきたいものです。

大館郷土博物館

大館の方言講座

- ◆アジマシ：ゆっくりと落ちていた・快適な
- ◆アワゲネエ：あっけない
- ◆ウシヤラジグネ：しゃくにさわる
- ◆ウダデ：不快だ・気持ちが悪
- ◆エ：よい・快適だ
- ◆キジ：強い
- ◆ケツチャマワリ：かつこう悪い
- ◆ジグネエ：意気地のない
- ◆シナクサイ：こげくさい
- ◆シバシネエ：やかましい

「大館市史」から

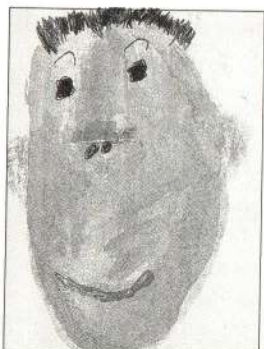
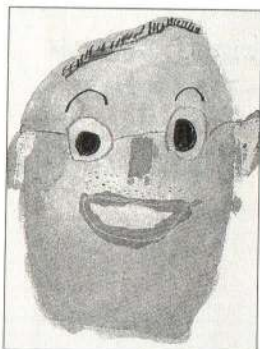
ちびっこギャラリー おじいちゃん



小林 昭仁 くん
昔ピッチャーをしていたから、野球をしてくれるんだ。



藤原 翔 くん
おうちで肩車して遊んでくれるから大好きなんだ。



藤原 正和 くん
一緒に庭でサッカーをして遊んでくれるんだ。

山館児童館

クイズ 広報 おおだてがヒント

- ▽問題
- ① 知事の市町村懇談会が行われたのはいつ？
 - ② 6月定例市議会で市長が行った行政報告の項目数は？
 - ③ 文化会館文化活動支援事業を希望する団体の、企画書の提出はいつまで？
 - ④ 湯夢湯夢の里温水プールが水交換のため休館するのはいつからいつまで？
 - ⑤ 大館の歴史散歩で紹介している箱は、携帯用の何として使われたもの？
- ▽応募先
〒017大館市字中城20番地
広報おおだてクイズ係
- ▽応募方法
はがきに住所、氏名、年齢、

- 性別、答え(例①ー②ー)を書いてご応募ください。
- ▽締め切り
6月25日(火)当日消印有効
※全問正解者の中から抽選で5人に、広報おおだてオリジナルテレカを贈ります。
- ▽5月16日号の答え
①45・1% ②3・7km
③北鹿ハリストス正教会曲田福音聖堂 ④1、164人 ⑤6月2日
- ▽5月16日号の当選者
・奥村あゆみさん(田代町)
・松岡万由美さん(獅子ヶ森)
・平正樹さん(天滝1区)
・佐藤キミさん(豊町)
・松崎優さん(御成町2丁目)
- 応募総数48、全問正解者数26